

# 組 合 概 要

平成 2 9 年 4 月 1 日

南部桧山衛生処理組合

## 1. 行政区域の概要

### (1) 位置

組合を構成している町は、北海道南部の渡島半島西部に位置している檜山振興局管内南部の江差町・上ノ国町・厚沢部町・乙部町・八雲町熊石地区の5町で構成されており、行政区域面積は1,500.55 k m<sup>2</sup>である。

## 2. 沿革

南部5町での共同事業処理を目的として組合を設立し事業を開始。

年 度	事 業 経 過
昭和 44 年 11 月	一部事務組合設立
昭和 47 年 4 月	し尿処理施設共用開始
昭和 49 年 4 月	ごみ処理施設共用開始（破砕埋立） 無料にて混合ごみの収集処理を開始
昭和 52 年 10 月	複合的一部事務組合に変更
昭和 53 年 6 月	構成 5 町の内 3 町で葬斎事業を開始 （江差町・厚沢部町・乙部町）
昭和 57 年 4 月	江差町外 2 町隔離病舎組合を組合に移管 南部桧山隔離病舎に名称変更し業務開始
昭和 59 年 4 月	し尿処理施設 30 k l /日を増設共用開始
昭和 62 年 4 月	ごみ処理施設更新計画開始
平成 5 年	一般廃棄物最終処分地施設建設事業開始 平成 5 年・6 年の 2 年継続事業
平成 6 年	焼却・粗大ごみ処理施設建設事業開始 平成 6 年・7 年・8 年の 3 年継続事業
平成 7 年 3 月	一般廃棄物最終処分地施設建設完成 共用開始は焼却・粗大ごみ処理施設と同時期
平成 7 年 9 月	分別の住民説明会開始 約 6 ヶ月
平成 8 年 7 月	焼却・粗大ごみ処理施設共用開始 ごみ有料化スタート 旧ごみ処理施設及び埋立地閉鎖
平成 8 年 10 月	容器包装リサイクル法に基づきリサイクル施設構想を立案
平成 10 年 6 月	道立江差病院移転に伴い隔離病舎を閉鎖 函館市立病院に業務委託
平成 11 年 3 月	南部桧山隔離病舎を廃止（伝染病予防法改正による） 規約改正・設置条例廃止
平成 16 年 11 月	旧粗大ごみ処理施設解体工事
平成 29 年 4 月	現在に至る

### 3.議会構成

各町から町長議員（4名）議会選出議員（6名）の10名を持って構成。

議 長 厚沢部町議会選出議員

副議長 八雲町議会選出議員

議 員 上ノ国町長・厚沢部町長・乙部町長・八雲町長

江差町議会選出議員2名・上ノ国町議会選出議員1名（監査委員）

厚沢部町議会選出議員1名・乙部町議会選出議員1名

八雲町議会選出議員1名

### 4.議決権

葬斎場に関する案件は関係3町の出席者の過半数の賛成を含む出席議員議決。他は全体議決。

### 5.監査委員

江差町選任の識見者1名と組合選出議員1名をもって構成。

### 6.檜山管内公平委員会

平成14年4月より檜山管内公平委員会を共同設置し檜山広域行政組合にて事務を統括。

### 7.檜山管内行政不服審査委員会

平成28年4月より檜山管内行政不服審査委員会を共同設置し檜山広域行政組合にて事務を統括。

### 8.組 織

管理者は次のとおり。

組合長（互選により江差町長）・副組合長（江差町副町長）・会計管理者（江差町会計管理者）

職員体制は次のとおり。（職員定数は13名）現体制は職員12名にて管理し、不足については嘱託・臨時職員及び民間委託にて対応。

場 長 1名 総 括

主 幹 1名 総 括

庶務係長 1名 総務・財政

庶務係 1名 〃

業務第1係長 1名 衛生処理場（し尿）及び葬斎場

業務第1係 2名 〃

業務第2係長 1名 粗大処理施設・動物焼却炉

業務第2係 1名 〃

施設管理係長 1名 焼却処理施設・最終処分場・リサイクル

施設管理係 2名 〃

## 組合職員資格一覧表（重複有）

1) し尿技術管理者	2名
2) し尿・汚泥再生処理技術管理者	1名
3) 焼却技術管理者	1名
4) 破砕・リサイクル技術管理者	1名
5) 一般廃棄物最終処分場技術管理者	1名
6) 産業廃棄物最終処分場技術管理者	1名
7) ボイラー1級	4名
8) ボイラー2級	10名
9) 酸欠・硫化水素主任者	11名
10) 危険物乙種第4類	6名
11) 大型特殊	9名
12) 建設車両	9名
13) フォークリフト	7名
14) 床上式クレーン	11名
15) 玉掛け	11名
16) 第3種電気主任技術者	1名
17) 第1種電気工事士	1名
18) 第2種電気工事士	2名
19) ガス溶接	5名
20) アーク溶接	4名

## 9.施設の管理体制

し尿処理施設：職員3名、嘱託職員1名にて維持管理。

＊併せて葬斎場維持管理。

ごみ処理施設：粗大ごみ処理施設

職員2名、嘱託・臨時職員4名にて維持管理。

＊併せて動物焼却炉維持管理。

焼却処理施設

職員3名で維持管理。

＊併せて最終処分場維持管理及びリサイクル担当

## 10.運転委託体制

し尿処理施設：警備委託（平成4年から）

し尿処理施設巡回の他、し尿処理施設・ごみ処理施設・汚水処理施設・葬斎場の夜間等職員不在時において異常が発生した場合担当職員への連絡業務（し尿処理施設以外の施設異常は電話警報システムによる）

焼却処理施設：稼働当初（平成 8 年）から運転管理を委託（9 名）  
最終処分場：平成 9 年から運転管理を埋立地と併せて委託（1 名）  
葬 斎 場：平成 14 年から火葬業務を委託（1 名）

## 11. 施設の概要

し尿処理施設：昭和 47 年 4 月 嫌気性処理 50 k l /日 供用開始。  
建設費 126,900 千円  
\* 施工業者 栗田工業（株）  
昭和 59 年 4 月 好気性処理 30 k l /日 増設し 合計 80 k l 日。  
建設費 649,000 千円  
\* 施工業者 栗田工業（株）  
\* 構成町下水道（集落排水含）供用開始状況  
江差町 平成 14 年：上ノ国町 平成 14 年：厚沢部町 平成 9 年  
乙部町 平成 13 年：八雲町熊石 平成 12 年

焼却処理施設：平成 8 年 施設規模 22 t /16 h ×2 基  
准連続燃焼方式（流動床炉）  
施工業者 川崎重工業（株）  
設備概要 ろ過集塵機（バグフィルター）  
灰固化（セメント固化）  
煙突 59m

総事業費 2,967,327 千円

内 訳

国庫補助金 229,834 千円

起 債 2,474,500 千円

道 補 助 金 10,000 千円

一 般 財 源 252,993 千円

粗大処理施設：平成 8 年 施設規模 13 t /5h ×1 基  
施工業者 川崎重工業（株）  
設備概要 処理工程において 5 種分別  
（可燃・不燃・鉄・アルミ・プラ系）

総事業費 759,110 千円

内 訳

国庫補助金 128,822 千円

起 債 570,000 千円

一 般 財 源 60,288 千円

最終処分地施設：平成 7 年 施設規模 面 積 29,000 m<sup>3</sup>  
容 量 97,000 m<sup>3</sup>  
シート 高密度ポリエチレン

(ガンドルシート 1.5mm厚)

水処理施設 60 m<sup>3</sup>/日  
施工業者 (株) クボタ  
設備概要 カルシウム除去・生物処理・凝集  
沈澱・滅菌  
総事業費 849,750 千円  
内 訳  
国庫補助金 168,652 千円  
起 債 294,300 千円  
一般財源 386,798 千円

動物焼却炉：平成 9 年  
施設規模 50 kg/h × 1 基  
施工業者 富士建設 (株)  
総事業費 21,939 千円  
内 訳  
起 債 11,900 千円  
道補助金 10,000 千円  
一般財源 39 千円

葬 斎 場：昭和 53 年  
施設規模 大型火葬炉 1 炉  
普通火葬炉 2 炉  
施工業者 (株) 炉研  
総事業費 117,626 千円  
内 訳  
起 債 78,100 千円  
道補助金 20,000 千円  
一般財源 19,526 千円